

緑町コミュニティだより

発行 緑町コミュニティ協議会 180-0012 武蔵野市緑町3-1-17 TEL・FAX 0422-53-6954
1面 運営委員会の動き・2面 地域ふれあいまつり感想文・3面 ふれあいまつり写真、行事感想・4面 地域情報

運営委員会の動き

◎ 地域ふれあいまつり

10月10日・11日に開催しました。

ふじの実保育園園児の作品、シルバービラ、地元野菜、その他沢山の出品とご協力をありがとうございました。

- ・ 二日間の入館者 708人
- ・ アンケート回収 44枚
- ・ お手伝い人数 130名(延べ)
- ・ 食事は3日間手作り(ゴミ減量協力)



◎ エレベーターの設置について

エレベーター設置の可能性について調査が行われました。設置が可能かどうか、可能ならばどこに設置するのかなどの調査を行いました。

◎ 修理しました

調理室外南側の水道に水もれがありましたが、10月19日(月)修理が完了しました。

◎ 窓口研修会

10月6日(火)市役所811室、当コミセンから11人出席

講師：日本女子大学人間社会学部

教育学科 田中雅文教授

内容：『学び』からみた武蔵野市の
コミュニティセンター」

- ・ 学ぶことの意味(なんのために学ぶか、学んだ効果)のお話。先生は事前に各コミセンに訪問調査され、それぞれのコミセンの特徴などをお話された。
- ・ いろいろと良い事は学んでいきたい。

これからの行事



子どもクリスマス会

日時：12月13日(日)午後1時30分～

内容：人形劇の上演

“サンタさんのいねむり”

お楽しみコーナー

参加費：無料

武蔵野大学の学生さん達が、楽しい劇を上演します。

どなたでもご来場いただけますので、どうぞおいで下さい。

年末・年始休館のお知らせ

12月28日(月)

～1月5日(火)まで休館します

※27日は、館内大掃除のため、午後2時から休館します。

※団体利用者の方、年末清掃のご協力をお願いします。

地域ふれあいまつり 「笑顔でつなごう地域の輪！」 各出店担当感想

ポップコーン 10月10日・11日 （1グループ担当）

10日（土）は天候に恵まれ、コーンの味は事前の研究もあり評判も良く、呼びこみにも力が入り、売上げも順調で楽しい一日でした。

11日（日）は午前中雨にもかかわらずお客さまが大勢来館され、コーンの売れゆきも前日同様益々順調、両日とも家族連れが多く、沢山の子供達が美味しい美味しいとほおぼる笑顔が嬉しかったです。又、おばあちゃま、おじいちゃまがお孫さんの為にと買い、童心にかえって食べたいと自分たちの分も買っていかれました。ポップコーンで、暖かい様々な地域とのふれあいができました。



1グループ長 武井まき代



焼きだんご・玉コン10月10日（土） （2グループ担当）

今年は焼きだんごと玉コン担当になりました。

焼きだんごは当コミセンの自慢の一品ですが、玉コンは初めてのことで経験者もないためどうしようかと思いましたが、山崎副委員長の知り合いの調理師の方に前日来ていただき、味付けなどの指導を受け、とても美味しい玉コンができました。味の方は絶品でしたが、黒いコンニャク玉でしたのでどうなるか気になりました。これからは当コミセンの定番にし自慢の一品にしたいと思います。

グループ全員が前日からいっしょけんめい頑張ってくれました。

2グループ長 植村 進

焼きそば 10月11日（日） （3グループ担当）

当コミセンの名物と言えば、この“焼きそば”です。長年、ふれあいの集いに出店する焼きそばを焼いて○十年！？緑町三丁目の協力員Tさんと言えば、泣く子も黙るお方。今年も焼きそばに参加してくれました。

材料の麺をはじめ、粉末調味料や野菜（キャベツ・人参）、豚肉は地元の商店O山食品さんに一括注文。全面的に協力下さり、お値段も原価に等しい価格でコミセンまで届けて下さる等々、我々担当者にとって有り難い存在です。

中玉7個のキャベツでしたが、有るメンバーが自宅よりデカキャベツを1個寄付したのもカットして下ごしらえをした為でしょうか、試し焼きをしたTさん曰く、“少々水っぽいね”とのことで、急遽、O山さんのアドバイスに従い、ウスターソースを焼きの途中に加えた処、ばっちり旨く出来上がりました。10回の焼きを繰り返し、合計151皿を完売することが出来ました。

終了後、売上金を数えたのですが、何度数えても50円足りません。我々は、しばしの後、“50円玉が1枚まざっていたのよね”と、この差額を推定しました。“小学生の坊ややお嬢ちゃんたちが、お小遣いを握りしめてコミセンに来て買ってくれたんだ。決してワザとではない”と。麺の良さも相まって美味しかった焼きそば、来年もやります。また緑町コミセンに来て下さいね。

3グループ長 狩野耕一郎





抹茶の準備
美味しそうなお饅頭と抹茶



コーヒー担当
美味しいコーヒー準備中



ASHチーム
美味しいやきとり



大人気の写真入カレンダー
準備で忙しそう



ふじの実保育園による折り紙教室
大変好評です
手先の運動になりますよ



地元野菜の販売
ネギ、ジャガイモ、さくら、お米
早くも行列になりました



今年、初めてのバザー
早いもの勝ち！
残り少なくなりました



卓翔会チーム
手作りの美味しいクッキー
来年もよろしく

よく噛み笑って口腔ケア講座に参加して

9月18日（金）歯科衛生士の染谷先生のお話を伺いました。

口腔ケアはとても大切で、手をぬくと加齢に伴う口腔機能の低下により栄養状態が悪くなったり、免疫力が低下し風邪をひきやすくなり誤嚥性肺炎などのトラブルも多くなるそうです。歯周病を含め、全身の様々な病気と深く関わっている事を学び、今までは気にしていなかった日常のセルフケアやチェックの大切さを感じました。主治医を持ち、定期健診を受けるのは勿論のこと、口腔機能を高めるには呼吸法や体と頭の軽い筋力ストレッチが唾液分泌を促し効果的とのこと。さらに一つ加えると好きな人と一緒に美味しい物を食べることが健康寿命を延伸するそうです。

緑町2丁目 山本文子



（よく噛み笑って口腔ケア講座）

料理教室

（9月27日）



料理教室は小学生の時以来です。レシピを見ると本格的な中華コース、正直なところ自信がなくなり腰が引けました。

はじめに先生が手際よく今日の料理を作ってくれました。その後、二つのグループに分かれ、デザート「杏仁風ヨーグルトプリン」から分担して調理を進めること10分、見事な「花しゅうまい」と彩がきれいな「チーズとトマトの中華あんかけごはん」が完成。蒸し器を使わないでしゅうまいができた驚き。にんじんに十文字の隠し包丁や、しゅうまいの隠し味にスキนมルクを加えるなど知識が深まったとともに、毎日食事を作っている主婦に頭の下がる思いがしました。

西東京市東伏見 松島俊輝

みんなの広場・地域情報

大野田地区

武蔵野市総合防災訓練

10月25日（日）9時、首都直下型地震発生を想定して、防災行政無線のサイレンを合図に武蔵野市全避難所の訓練が開始された。

大野田小学校においても、市役所初動要員と大野田地域防災の会との合同訓練が同時にスタートした。初めに校庭中央に避難してきた市民のほか参加者全員が集合して、市の職員から訓練の概要説明を受けた。

避難所の開設には、「建物被害状況の安全調査」等多くの手数がかかるので、避難者の中で元気な方に協力を呼びかけスムーズに「作業の役割班」が編成された。

予め各班のポジションに配置された地域防災の会スタッフから説明を受けた参加者たちは、「防災トイレの組み立て」、「避難所内のレイアウト確認」、「防災倉庫内保管の器具の取扱い」、「炊き出し体験」等、速やかに行動することができた。

終盤には、避難所の協働意識を深めるようトイレの生活用水運搬の手段である「バケツリレー」を体験。大人も子どもも一列になり参加者全員（約70名）で力を合わせて行い、訓練を終了しました。

大変有意義な訓練ができました。皆さんお疲れ様でした。



（力を合わせてのバケツリレー）

大野田地域防災の会代表 越智 征夫

千川地区

緑町2丁目4～6は、千川地区になっているので、千川小学校に集合。

市防災課、千川地域防災会、千川地域福祉の会、八幡町コミセン、緑町コミセン、商店会、地域有志ほか約40名が、災害発生と同時に千川小に集合し訓練を行なった。

学校の門・倉庫・避難所の鍵開け、発電機の作動、照明灯設置、担架の準備、患者を運ぶ訓練、食糧倉庫・飲料水の確認。通信施設の確認、緊急通信の訓練など。臨時トイレを校庭内に組み立て設置する訓練や、トイレに流す水の確認などは、みんなが交替で体験した。

いざという時に、みんなが行動できるように、何回も訓練する必要がある。

緑町都営アパート 会長 平田昭虎

西窪稲荷神社秋季大祭



西窪稲荷神社は緑町にある神社です。

この神社は明暦の大火（1657年）後、住民移転・新田開拓に伴い、西久保城山町（港区芝）住民が当地へ移住、西久保村の鎮守社として遷座したと言われております。明治初年、村社に列格していました。

9月12日の秋季大祭は各町内会の山車、子供神輿の渡御西窪本町会、緑町1丁目も3時から沢山の元気な子供達がワッショイ！ワッショイ！と町内を練り歩き、無事宮入りした後は沢山のお菓子のプレゼントに大喜びでした。来年も子供達、親子さんにぜひ参加をお願いしたいと思います。13日には本社神輿が渡御されました。

緑町1丁目 中島